

RISU PRODUCE vol.24
令和2年度（第75回）文化庁芸術祭参加公演

「イキザマ3」 2020年版 上演台本

作 松本 匠

【配役】

野瀬 浩之	一年生団員	溝口 琢矢
宮本 由加里	一年生団員	岩田 華怜
岩田 彰	一年生団員	松本 匠
長谷川 聡	三多摩大学応援団団長	朝枝 知紘
吾妻 幸太郎	鼓手長兼渉外責任者	吉川 柳太
竹下 圭祐	旗手長兼新人責任者	
白石 護	三年生団員	中尾 太一
川部 卓也	三年生団員	高橋 邦春
小林 孝平	二年生団員	永吉 悠人
溝口 真治	二年生団員	赤羽 一馬
松野 寛	二年生団員	河津 未来
先川 修太	三年生団員 (三年後)	村井 崇記
畠山 光司	二年生団員 (三年後)	大宮 一斗
辻本 勝也	二年生団員 (三年後)	吉田 竜馬
木村 章夫	二年生団員 (三年後)	原田 侑也
橋野 隆太	第二十五代団長OB	齋賀 正和

【スタッフ】

舞台監督 松壽 耕治

音響 平田 忠範〔GENG27〕

照明 青木 大輔

舞台美術 加藤 ちか

演出助手 飯泉 博道

宣伝美術 Brown:Design

舞台写真撮影 内堀 治大〔HYU Kreate〕

パンフ撮影 植野 智成

収録・技術協力 HYU Kreate

キャストイング協力 北田 希利子

制作協力 J-Stage Navi

企画・製作 RISU PRODUCE

1 【三多摩大学 中庭・午後一時頃】

客電、舞台上の照明が徐々に消えていく（暗転）
新歓ライブ最終日。校内の中庭では口角を上げながら新入生達に必死で勧誘活動を行なっている各サークルのメンバー達。
会釈をしてその場を駆け足で去る者や、真剣に話を聞いている者等、学園祭以上に多くの学生達で賑わっている。中庭の隅に組まれた小さなステージ上に、三多摩大学応援団と書かれた中団旗が掲げられている。ステージ下手側の下で吹奏楽部の部員達が各楽器のチューニングを行なっている。三年生団員の白石がステージ中央奥に置かれているバスドラムの前にやって来る。続いて二年生団員の松野、溝口、そして三年生団員の川部がステージに登場。少しずつ学生達がステージに注目し始める。客席前方で新入生の野瀬、宮本、岩田がステージを見つめている。全ての準備が整った事を確認した川部が指揮者へ合図を送る。指揮棒の動きを見たパーカッション担当の部員がスティックでリズムを取り始める。しばらく前奏があり、ライディーン（M1）の演奏を始める吹奏楽部の部員達。演奏に合わせて白石がバスドラムを力強く叩き出す。ゆっくりと照明が白石を照らしていく。中庭全体に演奏が響き渡る中、ステージ下手奥から竹下、長谷川、吾妻が登場。長谷川がセンターに立ち、竹下と吾妻は上下に分かれた後、三人同時に一礼する。

長谷川 元気よく！

長谷川達がテクを振り始め、団員達も一心不乱に手拍子を始める。
幹部三名の息のあった演舞に学生達の空気が変わる。
全団員が必死で演舞を行なっている。
一体感が増す団員達。
汗だくになりながらテクを振り続ける団員達。
演舞が終わり一礼する長谷川以下、団員達。
一礼した後、幹部三名がステージ下手に一旦はける。
川部と白石、二年生団員達はそのままステージに。

川部 それでは引き続き、岡山県倉敷東高校出身。

ステージ前に集まっている学生達が「名門！」と声を上げる。

川部 本年度、我が応援団の、旗手長兼新人責任者を務めます、この男、この男は、何を隠そう、大のアイドルオタクであり、推しの為なら貴重なオフを返上し、アキバに着くやいなや、学ラン姿から、オタクティーマナーに替え、ペンライトを片手に持ち、少しニヤつきながらライブ会場へ向かう男であります。

下手から竹下がステージのセンターへ。

川部 三多摩大学教育学部四年、竹下圭祐から、新入生の皆さんへ一言ご挨拶をさせていただきます。

竹下 はい学生注目！

団員達 何だ？

「何だ？」の声に連動してバスドラムを叩く白石。

竹下 まずは新入生の諸君、入学おめでとう、そして三多摩大学に入学してくれて本当にありがとう！

団員達 そうだ！

竹下 今更後悔してないだろうな？

団員達 そうだ！

竹下 三多摩大学、何か響きがいいだろう。

団員達 そうだ！

竹下 因みに我校の校名に似ている大学があるけども、あちらの大学とは、経営母体は一切関係ない。

団員達 そうだ！

竹下 多摩大、多摩美の学生諸君！偏差値は負けているが、澄み切った空気と緑の多さでは我々が完勝だ！

団員達 そうだ！

竹下 新入生の諸君、我が三多摩大学が、23区外である事を決して恥ずかしくないで欲しい。

団員達 そうだ！

竹下 代官山がなんだ、表参道がどうした？都内のオシャレスポットに行かなくても、我々にはららぽーとがあるではないか！

団員達 そうだ！

竹下 それに、イケアまであるんだぞ！

団員達 そうだ！

竹下 もう一つだけ言わせてもらうなら、都内に4店舗しかないステーキ・ハンバーグのブロンコビリーが三多摩地区には6店舗もあるんだよ。

団員達 そうだ！

竹下 しかも我が校の半径5キロ圏内に3店舗もあるんだぞ。

団員達 そうだ！

竹下 ブロンコビリーのサラダバーは、新鮮で最高に旨いんだよ！

団員達 そうだ！

一礼する竹下以下、団員達。

竹下 元気よく。フーレー、フーレー、新入生！

バスドラムを叩き出す白石。

竹下 フレフレ新入生、フレフレ新入生。

手を叩きながら二年生団員達も大きな声で「フレフレ新入生」と連呼している。学生達を煽りながら竹下が、

竹下 オーオーオ、オーオーオ、オーオーオ！

エールが終わり一礼し、竹下が下手の袖にはけていく。
同じく一礼する二年生団員達。

川部 続きまして、滋賀県立伊吹山高校出身。

学生達が「名門！」と声を上げる。

川部 本年度、我が応援団の団長を務めます、この男、この男は、高校時代は囲碁部に所属し、全国高校囲碁部選手権大会に出場し、見事二連覇を達成する程の実力の持ち主でもあります。高校時代に囲碁を打ちすぎた影響なのか、好きな動物はパンダとシマウマ、常に物事に対して白黒をつける性格も個性のひとつでもあります。余談ですが、使っているボールペンのメーカーはパイロットではなく、勿論ゼブラ社というこだわりの持ち主です。

下手から長谷川がステージセンターへ。

川部 三多摩大学経済学部四年、長谷川聡から、新入生の皆さんへ、一言ご挨拶をさせていただきます。

一礼する長谷川。

長谷川 はい学生注目！

団員達 何だ？

長谷川 一週間続いた新歓も、今日が最終日である！

団員達 そうだ！

長谷川 きっとまだどこに決めようか、迷っている事だと思うが、焦らずじっ

くりと考えて欲しい。

団員達 そうだ！

長谷川 因みに今現在、我が応援団への入団希望者はゼロである。

団員達 そうだ！

長谷川 でもまだまだ諦めないぞ！

団員達 そうだ！

長谷川 特に男子校出身の新入生諸君に聞いて欲しい。どこを見ても女子だらけで嬉しいだろ！

団員達 そうだ！

長谷川 浮き足だってないか？

団員達 そうだ！

長谷川 私も男子校出身だったから、諸君の気持ちは十分理解できる。実は三年前の新歓最終日に、今の諸君と同じく、私もこの場所にいたからだ！

団員達 そうだ！

長谷川 あの時私は、応援団のライブを観て、自分自身に約束した事がある。

団員達 なんだ？

長谷川 これから始まる学生生活に・・・私の学生生活に・・・女はいらないと。

団員達 そうだ！

長谷川 何故なら私は・・・私は・・・男が好きだからだ！

団員達 そうだ！

長谷川 けしてそういう意味ではない！

団員達 そうだ！

長谷川 最終日だからこそ、新入生の諸君！少しだけでいいから耳を傾け欲し

い！

団員達 そうだ！

長谷川 我々三多摩大の応援団だけではなく、他校の応援団も年々団員が減っているのが現実だ。

団員達 そうだ！

長谷川 正直、我が三多摩大学応援団も危機的状况と言っても過言ではない。

団員達 そうだ！

長谷川 きっと新入生の諸君も、応援団に対していいイメージを持っていないだろう？

団員達 そうだ！

長谷川 何故なら応援団には昔からこんな言い伝えがあるからだ。

団員達 何だ？

長谷川 一年はゴミ、二年は奴隷、三年でようやく人間、そして四年が神様、そんな古臭い上下関係が我が三多摩大学応援団に、存在する訳はない。

団員達 そうだ！

長谷川 我が三多摩大学応援団に存在するのは、常に謙虚な気持ちで互いを思いやる優しさと、そして押忍の精神の下、頑張っている仲間を、心の底から励まし応援する、ただそれだけである！

団員達 そうだ！

(M2) in (Gipsy Kings My Way)

長谷川 これからの四年間、きっと大きな壁の前で、何度も立ち止まる事があるかと思う。

団員達 そうだ！
長谷川 理不尽に感じる事だって、沢山経験するだろう！
団員達 そうだ！
長谷川 将来の自分に不安を感じる事だってあるだろう！
団員達 そうだ！
長谷川 でもそんな事を恐れず、これから始まる学生生活を思う存分、謳歌して欲しい。
団員達 そうだ！
長谷川 諸君の傍にはいつも、我々応援団がいる事を忘れないで欲しい。
団員達 そうだ！
長谷川 是非我々と共に、押忍の精神の下で、本当の自分探しの旅に出ようではないか。
団員達 そうだ！
長谷川 男女問わず、是非勇気を出して、我が応援団に飛び込んで来て欲しい。
団員達 そうだ！
長谷川 恐れる事など、何もないんだ！
団員達 そうだ！
長谷川 これからの四年間、我々応援団と、そして三多摩大学の仲間と共に、正直に、ありのままに、生きて、生きて、生きまろうではないか！
団員達 そうだ！
長谷川 元気よく。三多摩大学校歌。

(暗転) 転換スタート。

2 【三多摩大学 応援団幹部室・午後三時半頃】

校内の西側にある西館二階の一番奥にある団室。
団室の扉の横には大きな文字で「三多摩大学応援団」と書かれた表札が。団室の扉を開けてすぐ、三畳程の細長い部屋があり、その奥の突き当たりの右側に十二畳程の広さの幹部室がある。トイレ、炊事場は幹部室の奥にあり、団室の窓からは多摩川を眺める事が出来る。椅子に座りながら吾妻が事務作業をしている。事務電話が鳴り、隣の部屋で団室当番している小林が幹部室へ。

小林 失礼します！！

電話に出る小林。

小林 はい、三多摩大学応援団です。私、二年生団員、小林でございます。押忍、押忍、少々お待ち下さい。押忍、失礼します、森川先輩からお電話です。

吾妻が立ち上がり小林から受話器を受け取る。
小林が「失礼します」と言い幹部室から出て行く。

吾妻 失礼します。お電話代わりました。私、幹部の吾妻でございます。押忍、押忍、あいにく竹下は席を外していますが、押忍、いいえ、押忍・・・押忍・・・

松野と小林が長谷川に挨拶をする。
長谷川が幹部室へ。団旗に向かって一礼する長谷川。

吾妻 正直、昨年以上に厳しい状況ですが、最低でも五人は確保したいと考えております。押忍、押忍、えっ！本当ですか？押忍、押忍！承知しました。ありがとうございます。失礼します。押忍。

受話器を置く吾妻。ペンを取りメモ帳に名前をメモっている。

吾妻 森川先輩の知り合いのお子さんが、今年三多摩大に入学したんだって。
長谷川 それで？
吾妻 その子が応援団に入団したいって。
長谷川 ホントか！
吾妻 ああ。もし入団希望者で宮本って子が来たら宜しく頼むぞって。
長谷川 よっし！後で御礼の電話入れとくから。
吾妻 ああ。

バインダーに挟んである入団希望者リストを見ている長谷川。

吾妻 それと昼過ぎに白石から、見込みが有りそうな新生生を見つけたって連絡があったんだけど、話がまとまり次第、団室に連れて来るって。
長谷川 いい流れじゃん。
吾妻 おい松野！

松野が大声で「押忍！」と返事をし、幹部室に入って来る。

松野 失礼します！
吾妻 白石からの電話、お前が取ったんだよな。
松野 押忍！
長谷川 何て言ってたんだよ？

松野が驚く程の早口で、

松野 押忍、昨日の応援練習の時に、学生を図書館で見つけたとの事で、取り急ぎ、その旨を受けた次第であります。押忍！！

早口で何を言っているのか分からない松野。

長谷川 おい松野？
松野 押忍！
長谷川 何言ってるのか、全く分かんないだよ。
松野 押忍・・・
長谷川 もう一度、落ち着いて話してみろ。
松野 押忍！昨日の応援練習の時に、ずっと練習風景を見ていた学生を図書館で見つけたとの事で、取り急ぎ、団長以下、幹部の皆さんにその旨を伝えて欲しいとの、伝言を受けた次第であります。押忍！！
長谷川 もういいよ。
松野 押忍！！
吾妻 おい松野！
松野 押忍！

吾妻 そんなに幹部室が怖いのか？
松野 ……押忍。
吾妻 いつまでビビってんだよ。
松野 押忍！
吾妻 何百回も言ってるけど、とにかく落ち着いて話すようにしろよ。
松野 押忍、失礼します！

幹部室から出て行く松野。
長谷川がスマホで白石の携帯電話に電話を掛ける。
吾妻は中断していた作業を再開する。

長谷川 長谷川だ。松野から聞いたがどんな感じなんだよ？……分かった。
で今どこにいるんだよ？そうか、分かった。絶対に逃すなよ、ああ、
待ってるから。

電話を切る長谷川。

長谷川 白石の野郎、今一緒にこっちに向かっているって。かなり自信満々
だったよ。
吾妻 昨日の竹下のお灸がきいたのかもなあ……
長谷川 おい！

小林と松野が「押忍！」と返事をする。

長谷川 もうすぐ入団希望者が来るから、口角を上げて常に笑顔で対応するん

だぞ！

小林と松野が「押忍！！」と返事をする。

長谷川 二年になっても一番下っ端のままでいいのか？

小林と松野が「押忍！！！」と返事をする。

長谷川 お前らも後輩が欲しいんだろ？

小林と松野が「押忍！！！！」と返事をする。

長谷川 絶対に入団させるからな！

小林と松野が「押忍！！！」と返事をする。団室に竹下がやって来る。小林と松野が竹下に挨拶をする。竹下が幹部室へ。団旗に向かって一礼する竹下。

長谷川 どうだった？

竹下 二、三日、入院するみたいだけど、大した事ないって。

作業しながら吾妻が、

吾妻 どうかしたの？

竹下 オカンがパート中に倒れたって、今朝連絡があって。

吾妻 大丈夫なの？

竹下 詳しくは分かんないけど、最近調子が悪いとは聞いてたんだけど。
吾妻 病院だけは気を付けた方がいいから。退院したら他の病院でも診てもらった方がいいよ。

竹下 大丈夫だって、地元でも一番大きい大学病院なんだから。
吾妻 大学病院だからって当てになんねーよ。世の中、ヤブ医者がたくさんいるから。念の為だよ。もし何かあったら親孝行できなくなるんだから。

竹下 ……分かった、ありがとう。

入団希望者リストを見て竹下がため息をつく。

長谷川 白石が今、入団希望者とこっちに向かっているから。

竹下 白石が！

長谷川 練習風景をずっと見てた新生が居たんだって。

竹下 それって見込みがあんじゃないの？

長谷川 ああ、白石も自信有り気だったから。

吾妻 一昨日みたいに、ガツガツ行くと、相手も引いちゃうから、とにかく笑顔でせめた方がいいよ。

竹下 分かっているよ。あっそうだ！昨日も橋野先輩から電話があったよ。

長谷川 またかよ！

竹下 最終的にはとうとう脅しだよ、脅し。

長谷川 脅しって？

竹下 もしあと数年で廃部なんて事になったら、今いる幹部全員……

吾妻 幹部全員が何だよ？

竹下 いや、幹部全員を言い残して電話切られちゃって。
長谷川 参ったなあ・・・
吾妻 確か橋野先輩って今、新宿でヤクザやってんだよね。
竹下 噂では聞いた事あるけど、ホントかどうか分かんないよ。
吾妻 ホントだって、正月に職安通りで若い衆を連れて、肩で風を切りながら歩いてる橋野先輩見たし。
長谷川 マジかよ？
吾妻 ああ。多分、背中に龍か虎の入れ墨、入ってんだろうな・・・
竹下 次掛かってきたら団長が出てよ。
長谷川 バカ野郎！橋野先輩の担当はお前なんだから。
竹下 担当って、そんなのいつ決めたの？
長谷川 今だよ。
竹下 何が今だよ。
長谷川 お前が一番、可愛がられてるんだから。
吾妻 まあーあれだよ。まだ新歓が終わって一週間しか経ってない訳だし、まだ分かんないよ。
長谷川 バカ野郎！しかじゃなくて、もだよ。テニス部なんて四十人も入部してんだから。
吾妻 他の部の事なんて気にしなくていいよ。
竹下 吾妻はホントのんきって言うか何て言うか、いいよな。
吾妻 何言ってるんだよ。こう見えても俺だって色々考えてんだから。

隣の部屋から白石に挨拶する松野と小林の声が聞こえて来る。
白石が幹部室にやって来る。

白石 (大声で) 失礼します！
長谷川 連れて来たのか？
白石 押忍！
竹下 見込みは？
白石 (満面の笑顔で) 押忍！！
長谷川 白石？
白石 押忍？
長谷川 いい笑顔してんじゃない？
白石 押忍！！
長谷川 入って貰っていいから。
白石 押忍！

白石が幹部室の入口付近に行き、

白石 どうぞ。

野瀬が幹部室に入って来る。

白石 野瀬くんです。
長谷川 こんにちは。
野瀬 こんにちは。
長谷川 何か昨日の応援練習をずっと見てくれてたって聞いたけど。
野瀬 いえ、見てたって言うか、たまたま通りかかっただけで・・・
吾妻 何か飲む？

野瀬 大丈夫です。
吾妻 遠慮しなくていいから。
野瀬 本当に大丈夫です。
竹下 まあ一座ってよ。
野瀬 . . .

椅子に座る野瀬。

長谷川 野瀬くんって現役で合格したの？
野瀬 はい。
長谷川 生まれはどこなの？
野瀬 人間です。
竹下 航空自衛隊があるよね？
野瀬 はい。
竹下 一回だけ行った事あるけど、いいところじゃない。
野瀬 は、はい。

長谷川が間髪入れず、

長谷川 人間って事は実家から通ってた？
野瀬 いえ。
長谷川 こっちに出て来たの？
野瀬 . . .はい。
長谷川 どこに住んでるの？

野瀬 日野です。
長谷川 俺も日野だよ。
野瀬 あっ、あのちょっと・・・

竹下が間髪入れず、

竹下 野瀬くんって、応援団に興味があるから来てくれたんでしょ？
野瀬 いえ、興味があるとかではないんですけど。
長谷川 またそんな事言って。
竹下 きっと話を聞けば聞く程、もっと興味を持ってくれんるじゃないかな？
野瀬 あのーすいません！実はこの後、人と会う約束をしまして。
竹下 何時に待ち合わせなの？
野瀬 五時です。
竹下 どこで？
野瀬 府中です。
竹下 電車で行くの？
野瀬 いえ、自転車です。
竹下 (白石に) 自転車だったら、四時に出れば間に合うよな？
白石 押忍！
野瀬 ホントに間に合うんですか？
竹下 ホントだって。あと三十分あるし、それまでには必ず終わるから。
野瀬 いや、でも・・・やっぱりまた今度にします。
白石 そんな事言わないでさあー、折角来てくれた事だし、別に緊張しなく

ていいから。

野瀬 ……

松野と小林が川部に挨拶をする声が聞こえて来る。
幹部室に川部がやって来る。

川部 失礼します！

吾妻 どうした？

川部 押忍！溝口と二人で勧誘活動を行っていた所、女子学生ではありませんが、入団希望の新入生を見つけて参りました。押忍！

長谷川 今どこに居るんだよ？

川部 廊下にいます。ただ……

長谷川 何だよ？

川部 押忍！お父さんも同伴されていまして……

吾妻 お父さんも？

川部 押忍。

吾妻 珍しいなあー

長谷川 分かった。お父さんも入ってもらっていいから。

川部 押忍！

幹部室の入口から「おい溝口？」と手招きをする川部。

溝口 どうぞ！押忍！

宮本と岩田が「失礼します」と言いながら幹部室にやって来る。

溝口が二人をアテンドし、腰をかける宮本と岩田。

長谷川 こんにちは。
団員達 こんにちは。
川部 宮本さんです。
宮本 宜しくお願いします。

長谷川と吾妻の目が合う。長谷川が溝口に合図をし、

溝口 押忍！

溝口が松野と小林を呼びに行く。
「失礼します！」と言いながら幹部室にやって来る松野達。

長谷川 野瀬くん？
野瀬 はい。
長谷川 そんなに時間は取らせないから、宮本さんと一緒に話しをさせてもう
けどいいかな？
野瀬 ……

長谷川が吾妻に目配せをする。

吾妻 わざわざ団室にお越し頂き、ありがとうございます。私、鼓手長兼渉
外責任者を務めます四年の吾妻幸太郎と申します。まずは簡単に団員
を紹介します。

竹下 初めまして、旗手長兼新人責任者で四年の竹下圭祐です。
長谷川 団長を務めます四年の長谷川聡です。宜しくお願いします。
吾妻 で、皆さんの左手にいるのが三年生団員です。

白石と川部が「押忍！」と言いながら挨拶をする。

吾妻 残りの三名が二年生団員です。

二年生団員達が大きな声で「押忍！」と言いながら挨拶をする。

長谷川 おい、声大きいよ！いきなりそんな大声出したらビックリするだろ。

二年生団員達が小さな声で「押忍！」と返事をする。

岩田 さすが応援団の皆さんは元気がいいですね！

長谷川 ありがとうございます。

岩田 礼儀作法もしっかりしてるし、ホント素晴らしい。マーベラス！

吾妻 あの、お父さんいいですか？

岩田 お、押忍！

吾妻 で現在ここに居る八名で、我々は活動を行なっています。では練習時間等の説明を・・・

川部と白石に目配せをする吾妻。

川部 押忍、三年川部です。まず始めに練習についてですが、火曜日から土

曜日までの週五日間、時間は四時半から八時までです。ただ運動部の試合や大会がある場合はその都度、不規則になるのでご了承下さい。練習場所は基本的にすぐ目の前の多摩川の河川敷ですが、練習内容や天候によっては、校内にある講堂や団室でも行います。それとどの大学の応援団もそうですが、応援団恒例の夏合宿を十日間、新島で行います。途中でリタイヤする事なく、最終日まで乗り切る事が出来れば、ようやく正式な団員として認められます。

吾妻 正直、この夏合宿は他の運動部以上に厳しい練習になりますが、応援団は何と言っても体力が必要なのでご理解下さい。ただ厳しいだけではなく、その分得る事も沢山あります。

岩田 あれですか？合宿を終えたら人間的に大きく成長するとか？

吾妻 おっしゃる通りです。

竹下 (二年生団員達に) そうだよな？

松野達が「押忍！」と返事をする。

吾妻 我々応援団の活動の中で、野球部の春、秋のリーグ戦、それと各大学の応援団が合同で演舞を行なう私立大学連盟祭、そして夏合宿、この三つが大きな活動とも言えます。

黙って話を聞いていた野瀬が立ち上がり、

野瀬 すみません？

竹下 どうしたの？

野瀬 お話し中、申し訳ないんですが、やっぱり・・・
竹下 夏合宿の事が気になったの？
野瀬 そうじゃなくて。
竹下 時間はちゃんと見てるから。
野瀬 ホントに今日は。

長谷川が白石に目配せし、

白石 ねえー野瀬くん？お願いだからもう少しだけ、話を聞いてもらえないかな？もうちょっとだし、それでも合わないって思ったら、帰ってもらっていいから。ねえ？
野瀬 ……
白石 だってさっきはあんなに興味があるって言ってたじゃない？
長谷川 分かった。じゃあさあー、次もし出て行きたくなったら、その時はもう止めないから。

渋々、椅子に腰を掛ける野瀬。そのやり取りを見ながら、何かを感じている宮本と岩田。吾妻が川部に目配せをする。

川部 続けます。それと一般的に知られてないかも知れませんが、応援団の活動は運動部の応援だけではなく、ボランティア活動やイベントにも積極的に参加し、多くの方々との出会いを求め、応援を通じて少しでも社会貢献が出来ればと考えています。あと我々三多摩大学応援団にはチアリーディング部はなく、吹奏楽部に協力を頂きながら応援活動を

行なっています。

吾妻 因みに宮本さんはチアリーディング部があると思って来てくれた訳じゃないですよね？

宮本 はい。

長谷川 お父さん？確認ですが大丈夫ですよ？

岩田 何がですか？

長谷川 いや、その入団する事について・・・

岩田 僕に聞かれても何ですけど、きっと大丈夫じゃないですか。だって新歓ライブの最終日の時、一番前で食い入るように、皆さんの演舞を見てましたから、ねえー？

宮本 は、はい。

長谷川 あの時、居たんだ？

宮本 はい！

長谷川 ひょっとして野瀬くんも、見てくれてたりして。

野瀬 ……

長谷川 そっか、残念だなあー（二年生団員達に）見て欲しかったよな！

「押忍！」と返事をする松野達。

宮本 野瀬さんでしたっけ？

長谷川 ええ。

宮本 確か私の横で見ましたよ。

野瀬 ！！！！

長谷川 何だ！見てくれてたんじゃない！（二年生団員達に）よかったな！

「押忍！」と返事をする松野達。
再び立ち上がる野瀬。

野瀬 正直に言いますけど、図書館で声を掛けられた時、少しだけ話を聞きましたけど、僕は断ったんです。でもあの人があまりにもしつこかったから、だから・・・

白石 野瀬くん？急にどうしちゃったの？

吾妻 (白石に) おい白石！ホントなのか？

白石 …… (小さい声で) 押忍……

吾妻 どっちなんだよ！

白石 ……押忍！！

吾妻 ごめんね！てつきり入団希望者だって聞いていたから。

野瀬 もういいですか？

吾妻 勿論、何か面倒掛けちゃって悪かったね。予定があるのに、ホント申し訳ない。

野瀬に頭を下げる吾妻。野瀬が幹部室から出て行こうとする。
すぐに竹下が野瀬の前に立ち止まり、

竹下 ねえー野瀬くん？お願いだからあと少しだけ、ホント少しだけでいいから話を聞いてくれないかな？何か野瀬くんって凄くカッコいいし絶対応援団向きだって。あと五分、あと五分だけでいいからお願い！お願いだから頼むよ！

吾妻 竹下！もういいよ！
竹下 ちょっと黙ってろよ！

吾妻 ……

竹下 あのさあー、もし野瀬くんや他の一年生が入団しなかったら、いつまで経ってもこいつら二年が成長出来ないし、それに五十年間続いて来た応援団がなくなるかも知れないんだよ。

野瀬 そんな事言われても、僕には関係ないし。

竹下 もし合わないと思ったらすぐ辞めればいいじゃん、体験入団って事でもいいから。

野瀬 ……失礼します。

出て行こうとする野瀬に宮本が、

宮本 ねえ、野瀬くん！少しだけいいかな？

立ち止まる野瀬。

宮本 あの時団長の言葉を聞いて、自分自身に言い聞かせるように、何度も言ってなかったっけ？恐れる事など、何もない。本当の自分探しの旅かあーって。

野瀬 ……！！

宮本 隣に居たあなたの言葉を聞いて、何か分からないけど、あの時応援団ってこんな風に人の心を動かすんだなあーって改めて感じたから。ホントは入りたいんでしょ？昨日もその前の日も、橋の上から練習風景

を見てたじゃない。

野瀬

・・・

岩田

あの時、団長がこんなことも言ってたやないですか？これからの四年間、我々応援団と、そして三多摩大学の仲間と共に、正直に、ありのままに、生きて、生きて、生きまろうではないか！！！！って。

野瀬

・・・

宮本

あの・・・入団させて下さい。色々ご迷惑を掛けるかもしれないけど是非お願いします。

竹下

ホントに？

宮本

はい。

竹下

・・・ありがとう。

岩田

よし、じゃあこの流れで、僕もお願いします。

団員達に笑みが溢れる。

長谷川

お父さん？申し訳ないですけどそれは・・・

竹下

（宮本に）面白いお父さんですね？

宮本

えっ！赤の他人ですけど。

竹下

そうなの？

宮本

はい。

岩田

ですよ。

宮本

はい。

岩田

さっきからお父さん、お父さんって、あえて聞き流してましたけど、こう見えても僕も三多摩大学の新生ですから。

長谷川 冗談はいいですから、なあ？

二年生団員達が「押忍」と返事をする。
ポケットから学生証を取り出す岩田。学生証を見た長谷川が、

長谷川 おい川部？

団員達が川部を見つめる。

川部 押忍！

長谷川 さっきお父さんって言ってたよな？

川部 ……押忍。

川部がゆっくりと溝口を睨みつける。

溝口 押忍！失礼します。食堂でお二人が一緒にいたので、どこからどう見ても親子にしか見えま……押忍！

岩田 ねえー野瀬くん、僕も色々あるけど、宮本さんと三人で……

宮本 一緒に頑張ろうよ！

(M3) in

何かを感じた野瀬。野瀬を見つめる岩田と宮本。
そんな新生生を見守る団員達。

野瀬 この時、もし彼女とおじさんが僕を止めてくれなかったら、きっと後

悔しながら学生生活を過ごす事になっていたに違いない、いや、一生後悔していたと思う。二人がどうして僕を引き止めてくれたかは、この時理解出来なかったが、心のどこかで、誰かに止めて欲しかった自分が居たのかも知れない。だから僕はもう逃げない、ありのままの自分で生きて行こうと心に決めた。僕の新たな人生の一步を、ここにいる先輩達と、そして二人の同輩と共にスタートをきった。

(暗転) 転換スタート。

3 【三多摩大学 応援団幹部室・午後7時頃】

幹部室には川部、白石以下、二年生団員が揃っている。
直立不動で立っている二年生団員達。

川部　おい小林？
小林　押忍！
川部　一年が来たら、小林主導で団訓の練習から始めるから。
小林　押忍！
川部　ようやく後輩が出来たからって、気を緩めんじゃないぞ。
小林　押忍！
白石　松野？
松野　押忍？
白石　一年に話し掛ける時でも、まだ早口になってんだよ。

松野 押忍。
白石 自分でも気付いてんだろ？
松野 押忍！
白石 今のままでいいのか？
松野 押忍！
白石 もっと自分に自信を持てばいいんだよ。
松野 押忍！
白石 頼むぞ。
松野 押忍！
白石 溝口？
溝口 押忍？
白石 お前もだぞ？
溝口 押忍！！
川部 いつまで待たせんだよ、見て来い。
溝口 押忍！

隣の部屋でジャージに着替えている一年生の様子を見に行く溝口。
すぐに宮本、野瀬、岩田が幹部室に入って来る。

小林 この前と同じように一列に並べ。

「押忍」と返事をする一年生団員達。
手を後ろに組み直立不動で立っている野瀬、宮本、岩田。
胸元には大きな文字で名前が書かれている。

小林 じゃあこれから団訓の練習を始めるから、一言一言、腹の底から気持ちを込めて声を出すんだぞ。

「押忍」と返事をする一年生団員達。

小林 一、三多摩大学応援団員は、常に礼儀正しく謙虚でいなくてはならない。

一年生 一、三多摩大学応援団員は、常に礼儀正しく謙虚でいなくてはならない。

白石 声が小さい！

小林 一、三多摩大学応援団員は、常に全ての学生の模範生でなくてはならない。

一年生 一、三多摩大学応援団員は、常に全ての学生の模範生でなくてはならない。

白石 もっと腹の底から出すんだよ！

小林 一、三多摩大学応援団員は、常に押忍の精神の下、質実剛健、友愛、そしていかなる時でも、一致団結して行動を共にしなくてはならない。

一年生 一、三多摩大学応援団員は、常に押忍の精神の下、質実剛健、友愛、そしていかなる時でも、一致団結して行動を共にしなくてはならない。

白石 前回よりも声が出るようになったけど、まだまだ気持ちが入ってないんだよ。

一年生 押忍！
白石 週明けまでには、必ず全部、暗記しておくように、いいな！
一年生 押忍。
川部 おい岩田？
岩田 はい？
川部 はい！じゃねえーだろ！
岩田 押忍！
川部 練習初日に言ったよな？言ったよな！
岩田 ……
川部 宮本？
宮本 押忍。
白石 声が小さい！
宮本 押忍！
川部 覚えてるよな？
宮本 押忍！
川部 言ってみろ。
宮本 押忍！上級生に対しての返事はいかなる場合でも押忍！以外は使ってはならない。
川部 よし。おい野瀬？
野瀬 押忍！
白石 お前も声が小さいんだよ！もっと腹の底から出すんだよ！
野瀬 押忍！！
川部 他には？

野瀬 押忍！我々一年生から幹部である四年生には、いかなる時でも話し掛けてはならない。

川部 まだあるよな？

言葉に詰まる野瀬。

川部 宮本？

宮本 押忍！応援団員たる者は、いかなる状況でも言い訳を言ってはならない。

川部 よし。もう一度言うけど、三年になるまで、幹部に対しては押忍以外の言葉を使ってはいけないと言う事だ。いいな？

一年生 押忍！

白石 最後に応援団にとって命より大切なモノは何だ？

答えられない一年生達。白石が松野に、

白石 何だか教えてやれ。

松野 押忍！大団旗であります。

白石 まだお前ら一年は見た事がないかと思うけど、団室にある全てのモノが大切だが、その中でも大団旗は三多摩大学の心の象徴、つまり命だつて事を、絶対に忘れるんじゃないぞ！

一年生 押忍！

川部 おい小林？

小林 押忍！

川部 あと任したからな？

小林 押忍！

団旗に向かって一礼する川部と白石。

「失礼します」と一礼をして、幹部室から出て行く川部と白石。

団員達 ありがとうございます。

一礼する団員達。

小林 おい岩田？

岩田 押忍。

小林 さっき注意されたけど、返事だけは絶対に気を付けろよ！

岩田 押忍。

小林 それじゃ先輩方がいなくなったから、今日は特別に押忍の四段活用を教えるから。もう気付いているかも知れないけど、押忍だけだとさすがに会話が成立しない場合が多々あるから。

一年生 押忍！

小林 まずは普通の押忍。

松野に目配せをする小林。

松野 押忍、押忍、押忍。

小林 つまりあいづちの押忍。次が喜びの押忍。

溝口に目配せをする小林。満面の笑顔を作りながら溝口が、

溝口 押忍！押忍！押忍！

小林 とにかく笑顔が重要だからな。

一年生 押忍！

小林 次は疑問の押忍。

溝口 押忍？・・・押忍？・・・押忍？

小林 この疑問の押忍は間とトーンを間違ったらえらい事になるから、とにかく気を付ける様に。

一年生 押忍！

小林 最後がためらいの押忍。

溝口 ……押忍……押忍……押忍……

小林 このためらいの押忍が一番難しくって危険だから、お前ら一年は絶対使わないように、いいな！

一年生 押忍！

小林 おい岩田？

岩田 押忍？

小林 もう二度と言わないから絶対忘れるなよ？

岩田 押忍！！

小林 それと団訓にも書いてあるけど、我々応援団員は全ての学生の模範生でなくてはならない、つまり学業においても常にトップクラスの成績を残せるよう、努力する様に。文武両道だよ。分かったな！

一年生 押忍！

松野 応援する俺達の成績が悪いんじゃ、話になんないからな。

一年生 押忍！

溝口 それじゃ今日はもうひとつ、団訓ではないが、押忍の精神について話しをするから。ある意味一番大事な事だから、頭の中に叩き込んでおくように。いいな！

一年生 押忍！

溝口 今から話す格言をもし言える奴がいればすぐに手を上げろ。

一年生 押忍！

溝口 耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、押さ・・・

勢いよく「押忍！」と言いながら手を挙げる岩田。

松野 おい岩田？

岩田 押忍！

松野 本当に言えるのか？

岩田 押忍！

松野 じゃあ最初の耐え難きから言ってみろ。

岩田 押忍！・・・堪へ難キヲ・・・堪え、忍ヒ難キヲ忍ヒ、モッテ万世ノ為に、太平ヲ開カムトホッス。チンハココニ国体・・・

松野 おい！ちょっと待て！

岩田 押忍？

松野 今の何だよ？

岩田 玉音放送です！！

松野 玉音放送？

岩田 押忍。昭和二十年八月十五日の正午に・・・

松野 何の話をしてんだよ？
岩田 押忍？
溝口 さっきの話、聞いてたのか！
岩田 押忍！
溝口 俺は押忍の精神について話をするって言ったよな？
岩田 押忍！
溝口 誰が玉音放送を朗読しろって言ったんだ？ちゃんと人の話は聞け！
岩田 押忍！！
小林 岩田？
岩田 ……押忍。
小林 押忍の感情表現は、その調子でいいから。
岩田 押忍！！
溝口 それじゃもう一度言うから、いいな？
一年生 押忍！
溝口 耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、押さば押せ、引かば押せ、これ即ち自己滅却の精神也、我が道に如何に険しき山あれど、踏みてぞ超えん、押忍の精神。
松野 さすがに意味は分からないよな？
溝口 この格言は団訓と同じで、俺達応援団の心構えというか、ある意味応援団員はこうあるべきだという事を示している訳だ。
松野 簡単に説明すると、人を応援するには応援される人以上の精神力を持っていなくてはならない。だからこそ日々自分の精神を鍛え上げる為に、耐えられない程の厳しい練習に耐え抜かないといけないんだよ。

溝口 もし限界が来て自分に負けそうになったその時こそ、さっき言った、押さば押せ、引かば押せ、つまり踏ん張って踏ん張って踏ん張る事、どんなに苦しい時でも決して引かずに踏ん張り続ける事が大切だという事だよ。俺達応援団はいつも選手を押しあげながら、自己は押し忍ぶって訳だよ。

小林 まあ、すぐに理解できないかも知れないけど、この押忍の精神は俺達応援団だけではなくて、一般の社会でも通ずる言葉だって幹部の先輩方はいつもおっしゃってるから。

松野 今日は連盟の会合があったから、幹部の皆さんは不在だったけど、来週からは全体練習になるから、気を引き締めるように、いいな！

一年生 押忍！

松野 もう少ししたら、団室当番も任せるからな？

一年生 押忍！

小林 一年を含め、俺達のミスは全て三年の川部先輩と白石先輩の責任になるからとにかく日々の練習では絶対気を抜くんじゃないぞ！

一年生 押忍！

小林 それじゃ今日はこれで終わりにするから。

一年生 押忍！

小林 気を付け！！

小林以下、全団員が団旗を見ながら直立不動の姿勢を取り、

小林 解散！！

団員達 押忍！ありがとうございました！

一礼する団員達。小林、溝口、松野が「失礼します！」と言い
幹部室から出て行く。

すぐに掃除を始める野瀬達。暫く無言の三人。

宮本 ねえー岩田くん！

岩田 はい？

宮本 さっきの玉音放送のくだりって、わざと言ったんですか？

岩田 いいえ。

宮本 ホントですか？

岩田 ホントですよ。

宮本 我慢するのが大変でしたよ。

岩田 失礼しました。

宮本 岩田くんて歳はいくつなんですか？

岩田 四十八です。

宮本 私達と三十も違うんですね。

岩田 年齢差はかなりありますけど、でもそのうち違和感なくなると思いま
すよ。

宮本 なくなるかな？正直、岩田くんって呼ぶ事自体、かなり違和感あるし。
野瀬くんもそう思わない？

野瀬 まあ、少しは。

岩田 僕は全く違和感ないから、気にしないで下さい。

宮本 . . .

岩田 何か気が早いけど、夏合宿楽しみですね。

宮本 新島に行った事ないから、楽しみだけど、皆について行けるかが不安
だなあ・・・

岩田 海に入る時間とかあるのかな？

宮本 さすがにそんな時間はないですよ。

岩田 僕は小さい頃から海を見て育ったから、何か海を見てるだけで心が穏
やかになるんですよ。

宮本 岩田くんって出身はどこなんですか？

岩田 京都です。

宮本 京都！いいところですね。

岩田 京都と言っても一番北の日本海の方なんですけど。

宮本 東京にはいつ？

岩田 ん・・・二十数年経つかなあ。

宮本 そうなんですか。

岩田 あっそうだ！野瀬くん、この後時間ありますか？

野瀬 どうしてですか？

岩田 三人でご飯でもどうかなあーって。

野瀬 折角ですけど、予定が入ってまして、また今度誘って下さい。

岩田 分かりました・・・ちょっとトイレ行って来ますね？

宮本 はい。

岩田が幹部室から出て行く。

宮本 野瀬くんって何かバイトしてるの？

野瀬 う、うん。

宮本 何やってるの？
野瀬 バーテン。
宮本 へえ、どこで？
野瀬 新宿だけど宮本は？
宮本 生活リズムに慣れたら探すつもり。でも、バーテンって事は呑み屋さんだよな？
野瀬 うん。
宮本 お酒を扱うバイトは禁止だから、バレたらヤバイんじゃないの？
野瀬 それは分かっているけど、高校の時からずっとお世話になっている店だし。でももうすぐ辞めるつもりだから、先輩達には内緒にしといてくれるかなあ？
宮本 分かった。
野瀬 ありがとう。

何気なく野瀬が、

野瀬 宮本さんはどこ出身なの？
宮本 浅草。
野瀬 東京だったんだ。
宮本 そうだよ。
野瀬 しかも浅草かあ・・・
宮本 今度おいでよ。色々案内してあげるから。
野瀬 うん。
宮本 あっ！そうだ。もうすぐ早慶レガッタがあるよ！見にいかない？

野瀬 何それ？
宮本 毎年この時期に早稲田と慶応のボート部のレースを隅田川でやるの。明治時代から始まったレースで、小さい頃から親と一緒に見に行ってたから何か習慣になってて。レースも盛り上がるけど、何が面白いつて、応援合戦が凄いんだから。

野瀬 そうなんだ。
宮本 きっと勉強になると思うし、岩田くんも誘って行こうよ！
野瀬 分かった。
宮本 でも、その日に応援練習がなければの話だけどね。
野瀬 だから宮本さん、応援団に入団したんだ？
宮本 確かにそれも理由のひとつとしてあるかも知れないけど、せっかく大学に入ったんだから、新たな自分探しをしたかったって言うか。野瀬くんもそうなんじゃないの？

野瀬 俺の場合は何て言うか・・・あのさあーあの時、どうして俺を止めたの？
宮本 どうしてって、小さい頃、お父さんがいつも言ってたの。人生の中で本当の意味で出逢うべくして出逢う人が、三人はいるんだって。もし自分がそう感じたなら、後先考えずにその人に近付いていくべきだって。

野瀬 ……
宮本 言っとくけど恋愛感情って事じゃないから。
野瀬 分かってるよ。
宮本 素直に感じたから行動した、ただそれだけかも知れない。きっと今そ

の理由が明確じゃなくても、私達がもっと歳を重ねた時に、やっと気付くんじゃないかなあ。

野瀬

・・・

宮本

後悔してないよね？

野瀬

・・・うん。

宮本

だったらよかった。でもさあ、岩田くんって不思議だよな？

野瀬

何が？

宮本

どうしてあの歳で大学に入学して、しかも応援団に入団したんだろ？

時計を見た野瀬が、

野瀬

あっヤバイ！バイトに間に合わないや！

宮本

あとやっとくからいいよ。

野瀬

いや、でももしバレたら・・・

宮本

大丈夫だって！

野瀬

ホントにいいの？

宮本

うん。

掃除道具を宮本に渡し、団旗の前に立ち一礼する野瀬。

宮本

頑張ってね！

野瀬

うん。

幹部室から出て行こうとする野瀬が立ち止まり、

野瀬 宮本さん・・・ありがとう。
宮本

野瀬が「失礼します」と一礼し、幹部室から出て行く。
岩田が戻って来る。

岩田 野瀬くん、急いで走って行ったけど、何かあったんですか？
宮本 バイトに間に合わないって。
岩田 そうなんだ。
宮本 さっき野瀬くんと話してたんですけど、岩田くんってどうしてその歳で大学に入学したんですか？それに応援団にまで入団して。
岩田
宮本 だって岩田くんから見たら、私を含めて皆、子供に感じますよね？
岩田 別にそんな事ないですよ。
宮本 ホントですか？
岩田 ホントですよ・・・まあ、一言で言うなら後悔したくないって言うか。
宮本

(M4) in

岩田 ありきたりの言葉だけど、人生は一度きりだし、いつ何が起るかホント分らないから。無常の風は時を選ばず、かな。
宮本 無常の風は時を選ばず？諺ですか？

岩田 はい。
宮本 初めて聞いたかも。あとで調べてみよ。
岩田 よし！じゃあ僕らも帰りますか？
宮本 はい。

団旗の前に立ち、

宮本 気を付け！礼！

「ありがとうございました」と一礼する宮本と岩田。

宮本 直れ！

頭を上げる宮本と岩田。

「失礼します」と言い、幹部室から出て行く宮本と岩田。

(暗転) 暫くしてブル転にチェンジ。転換スタート。

4 【三多摩大学 応援団幹部室・午後二時頃】

幹部三名が各々事務作業をしている。隣の部屋では野瀬が学生服姿で団室当番している。あいにく外は雨が降っている。

長谷川 おい吾妻？
吾妻 ん？

長谷川 夏合宿の宿って、予約済みだっけ？
吾妻 ああ。
長谷川 いつものところだよな？
吾妻 うん。
長谷川 あそこってさあー、個室あったっけ？
吾妻 多分あったと思うけど、どうして？
長谷川 いや、吹奏楽部は自分達の大会があるから、何日か遅れて来るだろ。
吾妻 そうだけど。
長谷川 来てからは女子同士の相部屋でいいけど、それまでは個室にしてあげないと可哀想だろ。
吾妻 ああ！宮本の部屋の事ね！
長谷川 予算大丈夫だよな？
吾妻 うん。
長谷川 念の為、吹奏楽部の日程を確認してから予約しといてよ。
吾妻 分かった。今年の夏も暑くなんだろうな？とうとう最後になっちゃうけど楽しみだよな。
長谷川 ……吾妻さあーお前、就職どうすんの？
吾妻 どうするって？
長谷川 どこか行きたい企業あんの？
吾妻 出来れば証券会社に入りたいけど、まだ分かんないや。
長谷川 企業説明会にも参加してんだろ？
吾妻 うん。何か今ひとつ絞りきれないって言うか……
長谷川 竹下はどうすんだよ？

竹下 東京や大阪だったら教員試験に合格する可能性は高いんだけど、やっぱ、どうしても地元の岡山で教師をやりたいんだよな、かなり厳しいけど。

長谷川 お母さんのその後、どんな感じなの？

竹下 まだ入退院を繰り返しているけど、大丈夫だよ。

長谷川 ……

竹下 吾妻のお陰だよ。

吾妻 ……

竹下 俺ん家、母親しかいないし、どうしても東京の大学に行きたくて、おかんの反対を押し切って東京に出て来たから。社会人になったら傍にいてやった方がやっぱいいかなあーって。

長谷川 決まるといいよな！

竹下 ああ。で団長は決めたの？

長谷川 昨日も親父から電話があってよ、結局家業を継ぐ事になるんじゃないかな。

吾妻 とうとう腹くくったんだ。

長谷川 まだ仲直りした訳じゃないけど。

吾妻 長男って色々大変なんだな。

長谷川 小さい頃から手伝ってたし。

吾妻 もしひとつも内定貰えなかったら頼むよ。

長谷川 食品加工の町工場だぞ？

吾妻 全然いいじゃない！町工場で十分だよ。

長谷川 何言ってるんだよ。吾妻なら大丈夫だよ。

吾妻　まあ一何とか最後まで頑張ってみるけど。

長谷川　あっ、そうだ！おい！

隣の部屋から野瀬が「押忍！」と返事をした後、大きな声で
「失礼します」と一礼し、幹部室に入って来る。

長谷川　今日の団室当番は野瀬一人か？

野瀬　押忍！

長谷川　お前今、何かバイトしているのか？

野瀬　押忍。

長谷川　何のバイトやってんだよ？

野瀬　・・・

長谷川　だから何のバイトやってんだよ？

野瀬　・・・押忍。

長谷川　押忍じゃ分かんねーだろ？

野瀬　・・・

竹下　こう言う場合は特例だからいいんだよ。

野瀬　押忍。深夜のスーパーでレジ打ちをしています。押忍。

長谷川　どこで？

野瀬　新宿です。

長谷川　・・・だからか。

野瀬　！！！！

竹下　だからって？

長谷川　吹奏楽部の木村が、新宿駅で始発待ちしてる野瀬の姿をよく見かける

って言ってたから。稼がないといけないのは分かるけど、あんま無理すんなよ？

野瀬 押忍。

長谷川 因みに俺らが一年の時はバイトは禁止されてたんだよ。禁止されてなかったとしても、バイトする時間なんて無かったよな。

竹下 ああ。

長谷川 一昨年から徐々に、何て言うか、古き良き伝統は残しながらも、今の時代に合った方針に先輩方が変えて下さったんだよ。

吾妻 良かったな？

野瀬 押忍。

長谷川 もう慣れたか？

野瀬 押忍。

長谷川 宮本や岩田とも上手くやってんだろ？

野瀬 押忍。

長谷川 色々大変だけど、頑張れよ！

野瀬 押忍！

長谷川 もし辞めたくなくなったとしても夏合宿まで頑張るんだぞ！

野瀬 押忍。

長谷川 合宿を乗り切ったら、必ず何かが変わるから。

吾妻 野瀬は大丈夫だって。

長谷川 問題は岩田か？

吾妻 ああ。

野瀬 押忍、岩田は何がなんでも、夏合宿を乗り越え、正団員になって、バ

ッジをつけるのが今のモチベーションだって言ってますので、大丈夫だと思います。押忍！

長谷川 何言ってんだよ。この前奥多摩まで走った時、岩田だけ電車に乗って戻って来たじゃないかよ。

笑いが溢れる長谷川達

野瀬 ……押忍、あの実は……

野瀬の言葉を遮るかのように事務電話が鳴り出す。

野瀬が「失礼します」と言いながら電話に出る。

野瀬 はい、三多摩大学応援団です。私、一年生準団員、野瀬でございます。押忍、押忍、押忍、承知しました。お伝えいたします。失礼します。押忍。

ゆっくりと受話器を置く野瀬。

長谷川 誰からだよ？

野瀬 押忍！橋野さんと言う方が、近々全体練習に顔を出すから、その旨を幹部の皆さんに伝えて欲しいとの伝言を受けた次第であります。押忍。

長谷川 橋野って言ってたのか？

野瀬 押忍。

竹下 間違いないんだな？

野瀬 押忍。

竹下 マジかよ。

野瀬が「失礼します」と言いその場から去るろうとした時、

吾妻 おい野瀬？

野瀬 押忍！

遠くで雷が鳴り響く。

吾妻 さっき何か言おうとしたけど、いいのか？

野瀬 押忍！

吾妻 ならいいよ。

「失礼します」と言い幹部室から出て行く野瀬。

雨脚が強くなり、雷も鳴り響いている。

(暗転) 転換スタート。

5 【三多摩大学前、多摩川河川敷・午前十一時頃】

橋野がパイプ椅子に座りながら練習風景を食い入るように見ている。幹部三名は橋野の後ろで直立不動で立っている。

川部がセンターリーダーを務め、白石と一、二年生団員達は両手を後ろに組み、川部の動きに集中している。

川部 元気よーーーーーく。

両手を広げる川部。

川部 フレーーーーー

白石がバスドラムを叩き出す。

川部 フレーーーーー

再びバスドラムを叩く白石。

川部 三多摩。

もう一度、バスドラムを叩く白石。

団員達 ソリャーーーー

ソリャーで両手を素早く広げる団員達。

川部 エイ。

団員達が手拍子をしながら、

団員達 フレフレ三多摩、フレフレ三多摩。

川部 エイ。

団員達 オオーーーーー

川部 エイ。

団員達 オオーーーーー

川部 エイ。

団員達 オオーーーーー

川部の合図で両手を下げる団員達。

川部 押忍！気を付け！礼！

団員達 ありがとうございます。

川部 直れ、整列！

団員達 押忍！

団員達が機敏な動きで一列横隊に整列する。

橋野 おい川部？

川部 押忍！！

橋野 随分、様になって来たな。

川部 押忍！！

橋野 このまま気持ちを切らさずにいけば、長谷川の後任はお前だろ。

川部 ……

橋野 団長になりたくて、今まで頑張ってきたんだもんな。

川部 押忍！

橋野 頑張れよ。

川部 押忍！！
橋野 白石？
白石 押忍！
橋野 川部のエネルギーに負けてんじゃねえーかよ！
白石 押忍。
橋野 秋のリーグ戦が終わったら、長谷川達幹部から、いよいよお前ら二人が頭になるんだろ？
白石 押忍！
橋野 今のままでいいと思ってるのか？
白石 ・・
橋野 お前と川部が誰よりも、三多摩大学応援団の魂を継承しないで、誰が継承するんだよ？
白石 ・・・
橋野 お前ら二人だろ？

「押忍」と返事をする川部と白石。

橋野 白石？
白石 押忍？
橋野 前にも言ったけど、人って気持ち次第で変われんだよ。
白石 押忍！！
橋野 あと数ヶ月しか幹部と一緒に居れないんだから、頼むからな！！

「押忍」と返事をする川部と白石。

幹部三人が頭を下げ「すみませんでした」

橋野 お前らが謝らなくていいよ。

長谷川 すみませんでした。

橋野 もういいから。

長谷川 押忍、それでは遅くなりましたが、ご紹介させて頂いていいですか？

橋野 ああ。

長谷川 我が三多摩大学応援団第二十五代団長、橋野隆太先輩だ。毎年、夏合宿に同行して下さりご指導頂いている訳だが、それ以外でも寄付金を募って下さったり、あらゆる面でご協力を頂いている。我々は常に橋野先輩を始め、多くの皆様に支えて頂いているという事は忘れんじやないぞ！

「押忍！」と大きな声で返事をする三年生以下の団員達。

長谷川 （野瀬と宮本に）ご挨拶しろ？

野瀬 押忍、経済学部一年、野瀬浩之です、宜しくお願いします、押忍。

宮本 押忍、薬学部一年、宮本由加里です、宜しくお願いします、押忍。

橋野 薬学部なんだ？

宮本 押忍！

橋野 俺も薬学部出身だよ。

宮本 押忍！

橋野 最近は他の大学でも女子の応援団員が増えてるみたいだけど、うちでは初めてなんだから、宮本が新たな歴史を作るんだぞ！

宮本 押忍！
竹下 橋野先輩って薬学部出身だったんですか？
橋野 ああ。だから今も薬に携わってんだよ・・・薬剤師やってんだよ。

薬剤師と聞いて何かを感じている幹部達。

竹下 ...えっ、ヤクザじゃなく、薬剤師ですか？
橋野 バカ野郎、何で俺がヤクザやんなきゃいけないんだよ。
竹下 失礼しました。
橋野 俺が薬剤師だったらいけねえーのかよ！
竹下 ...いえ、適任だと思います。
橋野 吾妻には以前、話した事あるだろ？新宿の大学病院で薬剤師やってるって。
吾妻 ...押忍。

長谷川、竹下が吾妻を睨みつける。

橋野 薬剤師と言っても、ただの薬剤師じゃないんだよ。一応、薬剤部長って役職に就いてるけどな（宮本に）薬剤部長ってどれだけ凄いかわかるよな？
宮本 押忍。
橋野 こう見えてもそこそこ偉いんだよ。舐めんなよ！
竹下 押忍！
橋野 もう一人、歳取った一年が入ったって聞いたけど、もう辞めたのか？

長谷川 いえ、腰痛が酷いようで、今病院に行っております。
橋野 どの病院だよ？
長谷川 詳しくは聞いていませんが、以前から腰痛持ちみたいで。
橋野 何だったらうちで診てやってもいいから。
長谷川 伝えておきます。
橋野 遠慮しなくていいから。
長谷川 ありがとうございます。最後に一言、頂戴できないでしょうか？
橋野 ああ。おい小林？
小林 押忍！
橋野 応援団に入って良かったって感じた時ってあるのか？
小林 押忍。
橋野 押忍！じゃ分かんないよ、いいから話してみろ。
小林 押忍！正直二年になっても、皆について行く事で必死ですが、ただ言えるのは団員になり、皆さんに出逢えた事に感謝しています、押忍！
橋野 溝口は？
溝口 押忍、ようやく後輩が出来た事と、それともうひとつは、勝敗に関係なく選手の皆さんからたまにですけど、応援ありがとう、って声を掛けてくれた時です、押忍！
橋野 松野は？

松野が驚く程の早口で、

松野 押忍、観客の皆さんと、我々応援団になった時であります、押忍！

全く何を言っているのかわからない松野に、

橋野 おい松野？

松野 押忍！

橋野 何言ってるのか全く分かんないよ。落ち着いて話せよ。

松野 押忍、観客の皆さんと、我々応援団の心がひとつになった時でありませ、押忍！

橋野 じゃあ逆に悔しかった事は？

松野 押忍、我々の応援力の無さで試合に負けた時は、いつも悔しくて仕方がありません。

橋野 そうだよな。

松野 押忍。

橋野 特にうちの運動部は野球部を筆頭に弱いからな。俺も二年の時は、松野と同じだったよ。

松野 押忍！

橋野 ある意味上と下の狭間にいる二年が一番きつい時期だからな。ただなあ、三年の春のリーグ戦で野球部が七連敗した時があったんだけど、さすがにその時は、ある事ばかり考えるようになったんだよ。

松野 押忍？ どういう事をお考えになったんですか？ あっ！失礼しました、押忍！！

橋野 気にしなくていいよ、知りたいか？

松野 押忍！

橋野 ……応援団の存在意義だよ。

松野 ……

橋野 俺達応援団は他の部と違って記録や勝敗は残らないだろ？いかに観客を盛り上げながら統制を保った応援をするか？そして心の底から母校の勝利を願って選手達を応援する。いつもその繰り返しだよな？でもあの時何かの糸が切れたかのように、結局俺達応援団がいなくても、勝つ時は勝ち、負ける時は負けるんじゃないかって思ったんだよ。ただ、夏合宿の時にあるOBの方がこんな事を言って下さったんだ・・・

(M5) in

橋野 応援団員として一番大切な事は、決して見返りを求めず、どんな状況であっても、どんなに辛くても仲間と共に己の限界を越えようとする信念を持ち続ける事だって。そしてその信念を貫き通した者だけが、きっとその答えを得る事が出来るんだって・・・

何かを感じる団員達

竹下 ……その答えは出ましたか？

橋野 ああ。だから白石？

白石 押忍？

橋野 負けんなよ。

白石 ……押忍。

橋野 今、踏ん張らないと、必ず後悔するから。

白石 押忍！！

橋野 おい竹下！

竹下 押忍。
橋野 お前が悪いんだよ？
竹下 何がですか？
橋野 何だかしんみりしちゃったじゃねえーかよ！
竹下 押忍！すみませんでした！全て私の責任であります、押忍！！
橋野 以上！！
長谷川 気を付け！！

幹部以下、全団員が直立不動の姿勢を取り、

長谷川 橋野先輩に礼！

団員達が一礼をしながら「ありがとうございました」と挨拶する。

長谷川 直れ、解散！！
団員達 押忍！ありがとうございました。

団室に戻る団員達。

橋野 (長谷川に) この後お前ら時間あるのか？
長谷川 押忍。
橋野 たまには昼間っから呑むのもいいだろ？
竹下 押忍！
長谷川 川部？
川部 押忍！

長谷川 団室に戻ったら、川部のしきりで反省会を頼むぞ！
川部 押忍！

団室に戻ろうとしていた白石が橋野に近付き、

白石 押忍！失礼します。ありがとうございます。押忍、失礼します。

一礼してその場を去る白石。

橋野 (竹下に) ちょっといいか？

竹下 押忍？

長谷川 では先に行ってます。

橋野 ああ。すぐ戻るから。

「失礼します」と言い、一礼し団室に戻る長谷川と吾妻。

橋野 お前って就職どうすんだよ？

竹下 まだ決まっていませんが。

橋野 教員になりたいって以前言ってたよな？

竹下 はい。

橋野 まだその気持ちは変わってないのか？

竹下 はい。

橋野 俺が勤務している病院はある大学の付属系なんだけど、来年の春、岡山に新しく高校を開校するから、今、教員を探してんだけど興味はあるか？

竹下 勿論です。
橋野 近い内に担当者と会う機会をセッティングするから。細かい事はまたその時に話すよ。
竹下 ありがとうございます。

竹下と橋野が団室に戻ろうとした時、岩田がやって来る。

岩田 遅くなりました！押忍！
竹下 大丈夫か？
岩田 押忍。
竹下 今日そのまま帰っていいって言っただろ？
岩田 押忍。
竹下 ……そっか、橋野先輩に挨拶したかったのか？
岩田 押忍！
竹下 分かった。
岩田 押忍。
竹下 押忍、さっき話した三人目の一年生です。
橋野 押忍。
岩田 押忍、文学部一年、岩田彰です、宜しくお願いします、押忍！

岩田を見て何かを感じる橋野。

橋野 ……学ラン姿の……

(M6) in

竹下 どうかしましたか？

橋野 いや、何でもない。

橋野が岩田の顔を見て、何かを感じている。

その事に気付いていない岩田。

(暗転) 転換スタート。

6 【三多摩大学 応援団幹部室・午後8時頃】

大会に出場するボート部の応援について、打ち合わせをしている
団員達。宮本が明日のスケジュール表を皆に配っている。

竹下 おい川部？

川部 押忍！

竹下 大団旗の段取りは大丈夫だよな？

川部 押忍、朝一で取りにきます。

竹下 場所の確認は？

川部 昨日現地へ行って確認しました。

吾妻 白石？

白石 押忍！

吾妻 大太鼓も問題ないよな？

白石 押忍！

長谷川 おい！いいか、そこにも書いてあるけど、明日のボート部のレースは勝った方が全国大会に出場する事が出来るんだ。絶対に落とす事が来さないレースだから皆、頼むぞ！

団員達 押忍！

長谷川 スケジュールはそこに書いてある通りだから、各自確認しといてくれ。

団員達 押忍！

長谷川 最後にポジションに関しては、今後の事を考慮した上で（吾妻に）松野は白石のサブでいいんだよな？

吾妻 ああ。

長谷川 おい松野？

松野 押忍！

長谷川 しっかり声出しながら、動きや流れを見てんだぞ！

松野 押忍！！！！

竹下 溝口と小林はレース前の団旗礼になったら、俺の後ろでしっかりと動きを見てろよ！

「押忍」と返事をする小林と溝口。

長谷川 一年の事は川部に任せるから。

川部 押忍。

竹下 ボート部がいつも多摩川で必死になって練習している姿を見てるよな？

川部 押忍。

竹下 明日は俺達の応援力で、ボート部を後押しして、必ず全国大会に出場

させるからな！

団員達 押忍！

竹下 頼むぞ！！

団員達 押忍！

長谷川 この後、一年以外は解散していいから。

「押忍！」と返事をする、一年生以外の団員達。

長谷川 気を付け！！

全団員が団旗を見ながら直立不動の姿勢を取り、

長谷川 礼！

一礼をする団員達。

長谷川 解散！！

団員達 押忍。ありがとうございました。

一年生だけが団室に残り、二、三年生は「失礼します」と一礼し、
幹部室から出て行く。

長谷川 おい岩田？

岩田 押忍！

長谷川 腰の具合はどうなんだよ？

岩田 押忍！
長谷川 押忍じゃわかんねえーだろ？
岩田 押忍、大丈夫です。
竹下 大丈夫って、ここ数週間、ずっと同じ事言ってるけど、何も変わってねえーだろ？
長谷川 練習もまともに出来ないし、はっきり言うけど皆に迷惑掛けてんだよ。
竹下 腰痛だって聞いているけど、先生は何て言っているんだよ？
岩田 押忍、まだ時間は掛かりますが、これ以上、悪くならないとの事です。押忍。
長谷川 次、病院に行ったら、診断書を貰って来い。
岩田 押忍。
長谷川 それと明日は来なくていいから。
岩田 ……
長谷川 もし無理して来たなら、退団させるからな！
岩田 ……押忍！
長谷川 じゃあ明日頼むぞ。

「押忍」と返事をする野瀬と宮本。団旗に向かって一礼し、幹部団室から出ていく長谷川達。

野瀬 残念だけど、明日は団長がおっしゃった通り、家でゆっくり休んだ方がいいから。
宮本 そうだよ。
岩田 押忍。

野瀬がパイプ椅子を差し出し、

野瀬 掃除は俺と宮本でやるから。

「ありがとう」と言いゆつくりと椅子に座る岩田。
掃除を始める野瀬と宮本。

岩田 何か迷惑掛けてごめんね。

野瀬 別に気にしなくていいよ。

宮本 そうよ！もうすぐ夏合宿なんだから、元気出してよ。今はとにかく無理しないで、治療に専念すればいいんだって。

岩田 . . .

落ち込んでいる岩田を見て野瀬が、

野瀬 次の休みにさあ、三人でご飯いかない？

宮本 それいいね！

野瀬 (岩田に) 何か食べたいモノある？

岩田 ん ピザがいいかな。

宮本 ピザ？

岩田 うん。

宮本 何か意外だなあ。

野瀬 高幡不動の駅前に美味しいピザ屋さん知ってるから、そこに行こうよ。

宮本 うん、じゃあピザで決まりだね。

野瀬 ああ。
岩田 こう見えても、健康面は誰よりも自信があったんやけど、何でこんな事になったんだろ・・・

何かを感じる野瀬と宮本。

宮本 四十代になったら、若い頃、無理しすぎた反動で、どこかしら身体にガタ来るってうちのお父さんも言ってたから、こればかりは仕方が無い事だって。

岩田 歳には勝てないかあ。

野瀬 そういう事だよ。

岩田 中島みゆきの時代って歌に、くよくよしないで、今日の風に吹かれましよう・・・って歌詞があるんだけど、ホントその通りだなあ。

宮本 その歌、知ってるよ。

岩田 そうなの、かなり昔の歌だよ？

宮本 カラオケ行く度にお母さんが歌うから。

岩田 そうなんだ。

宮本 確か・・・

時代を口ずさむ宮本。

岩田 上手いじゃない宮本さん！

宮本 十八番の歌だったら、もっと上手く歌えるよ。

岩田 いつか聴かせてよ。

宮本 うん。
野瀬 あっ！じゃあさあ、ピザ食べた後、カラオケに行こうよ！
宮本 それいいね！！
岩田 よし、じゃあーそれまでにはしっかり治さないと。
野瀬 そうだよ。

優しく岩田を見つめている野瀬。

宮本 あのさあー初めて聞くけど、野瀬くんって彼女いるの？
野瀬 ……
岩田 そりゃいるでしょ？こんなにカッコいいんだから。逆に宮本さんはどうなの？
宮本 ……気になる人はいるけど。
岩田 若いうちはいっぱい恋した方がいいよ。
宮本 どうして？
岩田 男女問わず、恋をすればするほど、色気が出て来るから。
宮本 ホントに！よし！じゃあ沢山、恋をしないと！！押忍！
岩田 いいねえ！ただ出来ればお金に余裕がある人の方がいいと思うよ。
宮本 押忍！

笑っている宮本と岩田。

野瀬 いつか先輩方にも話そうと思ってるんだけど、中々言い出せなくて。
……実は俺、物心ついた時から男の人しか好きになれなくて……

野瀬の告白に驚く宮本と岩田。

野瀬 中二の時、普通じゃない自分に気付いてから、きっと病気だからすぐ治るんだって思ってたけど、病気ではないという事を知ってから、この事実を受け入れるのに、少し時間が掛かったんだ。俺、ずっとイジメられっ子だったから相談する相手が誰も居なくて、だから高二の夏休みに初めて二丁目に行ったんだ。何気なく入ったお店のマスターが、全てを察してくれて、その時、初めて心が救われたっていうか・・・

宮本 ひょっとして、そのお店がこの前までやってたバイト先なの？

頷く野瀬。

野瀬 その後、今まで抑えていたモノが、一気に吹っ切れて、バイトがない時も頻繁に二丁目に通うようになって・・・大学に入学する前に、マイノリティとして生きて行く事を決めたけど、でも、まだ心のどこかに何かを隠している自分がいるような気がして、で、二人と出逢ったあの時、長谷川団長の言葉を聞いて、ひょっとして応援団に入ったら、その隠してる何かを見つける事が出来るんじゃないかと思って・・・

岩田 自分をさらけ出すって、ホント勇気がいる事だもんね。話してくれてありがとう。

宮本 ありがとう。

(M7) in

岩田　ねえー宮本さん？
宮本　ん？
岩田　冷蔵庫からビール持って来て？
宮本　何バカな事言ってるの！ある訳ないじゃない。
岩田　じゃあ、これから呑みに行こうか？
宮本　お酒は呑んだらダメだって、病院の先生に言われてたんじゃないの？
岩田　退団させられるかも知れない状況になった人間には、怖いものなんてないんだよ。
宮本　何いってるのよ！
岩田　じゃあ分かった！僕が大好きな歌を二人にプレゼントするよ。
宮本　今じゃなくて、カラオケの時でもいいから。
野瀬　・・・今、聴かせてよ？
岩田　さすが野瀬くん！小さい頃、おじいちゃんが酔っぱらうと、しょっちゅう歌ってた歌なんだ。

岩田が立ち上がり、

岩田　では、三多摩大学文学部一年生、岩田彰！僭越ながら歌わせていただきます。一、二、三、四、二、二、三、四・・・

歌詞を少し変えながら「同期の桜」を口ずさむ岩田。
野瀬と宮本も歌詞は知らないけど、何となく一緒に歌い出す。
初めて心がひとつになった一年生。
まるで同輩の絆が永遠に続くかのように・・・

(暗転) 野瀬達が袖にハケたらブル転換に変化。

7 【三多摩大学 応援団幹部室・午後五時頃】

夏合宿で宿泊する宿へ、最終確認の電話をしている小林。

小林 はい、はい、ありがとうございます。それと先日吾妻からご連絡を差し上げましたが、宿泊人数の最終確認ですが、応援団員十一名、OBが四名の十五名、吹奏楽部が十五名なので合計三十名になります。はい、はい、大丈夫です。これで変更はありませんので、はい、では宜しく願いたいします。失礼します。押忍。

受話器を置く小林。

溝口 どうだった？

小林 OBの皆さんからのお米や、食材はもう届いているって。

溝口 今年も毎日、肉三昧なのかな。

松野 有り難いよな。

溝口 ホントだよ。

松野 毎晩、こんな分厚い肉の塊、食べまくってたし。

溝口 あの肉、ホント旨かったよな！

松野 ああ、宿の料理も美味しいし、食事だけは何ひとつ文句がなかったもん。

溝口 あんなきつい練習、朝から晩までやってんだから何を食べても美味しく感じて当然だよ。

松野 合宿中、ずっとメシの事しか考えてなかったから。

小林 お前らよく憶えてるよな。俺、何食べたかなんて全く覚えてないし、どんな宿だったかも記憶にないもん。

松野 マジで？古い旅館だったけど、露天風呂がやたら広くて、いい旅館だったよな？

溝口 ああ。

小林 正直、ここ最近、合宿の事を考えるだけで胃が痛くなるんだよな。

溝口 何言ってるんだよ。今年は一年がいるんだから、格好悪い姿見を絶対見せんよ。

小林 分かってるよ。

松野 俺も緊張して早口にならないように気をつけないと。

溝口 でもなんか寂しくない？

小林 寂しいって？

溝口 幹部の皆さんは、今年が最後になる訳だし。

松野 まあな、去年の夏合宿、今の幹部の皆さんがいたから、乗り切る事ができたもんなあ。

溝口 幹部になって変わったけど、三年の時は優しい言葉を掛けてくれてたし。

松野 ああ、今じゃ考えられないけど。

小林 そんな事あったの？

松野 えっ！ホント覚えてないの！

小林 うん。

溝口 そんなに辛かったんだ？

小林 あっ！！また胃が痛くなってきちゃった。

そんな小林の姿を見て笑っている松野と溝口。
団室当番の野瀬、宮本が長谷川に挨拶をする。
長谷川が幹部室に戻ってくる。
挨拶をする松野達。

長谷川 おい小林？

小林 押忍！

長谷川 食材の件、どうだった？

小林 押忍、飲み物以外は既に届いており、宿泊人数等の確認も全て済んで
おります。

長谷川 分かった。もうすぐ橋野先輩が来られるから、お迎え頼むぞ。

小林 押忍。

長谷川 おい、松野、溝口？

「押忍」と返事をする松野と溝口。

長谷川 今年はお前ら二人を徹底的に追い込むように川部と白石に言ってある
から覚悟しとけよ。

「押忍」と返事をする松野と溝口。

長谷川 小林？

小林 押忍！

長谷部 お前は幹部三人で血便が出るまで追い込むから。

小林 ……押忍。

「失礼します」と言い幹部室から出て行く松野達。
長谷川が携帯電話で実家に電話を掛ける。

長谷川 (関西弁で) もしもし、聡やけど、オヤジは？そっか……合宿が終わったら今年も四日程帰るから。うん、うん、あのさあー、就職の件だけど、オヤジにお世話になるからって伝えといてくれるかなあ。
うん、分かった、うん、うん、ありがとう。また連絡するから。

電話を切る長谷川。団室当番の野瀬と宮本が竹下と吾妻に
挨拶する。一礼し幹部室にやって来る竹下と吾妻。

竹下 まだ来られてないんだ？

長谷川 ああ。

吾妻 どうしたんだろ、急に？

竹下 (長谷川) 何か言ってなかった？

長谷川 岩田の事で、話があるって

吾妻 岩田がどうかしたの？

長谷川 それしかおっしゃってなかったから。

吾妻 何かあったのかな？

竹下が何かを思い出したかのよう、

竹下 河川敷で岩田を紹介した時、何か言ってたんだよな？
吾妻 何て？
竹下 ちょっと分かんなかったけど、それと何か関係あんのかなあ・・・

「失礼します」と挨拶し、幹部室に川部がやって来る。

川部 間もなくです。
長谷川 三年以下は呼ぶまで、廊下で待機しといてくれ。
川部 押忍。
長谷川 因みに岩田は？
川部 押忍、白石と一緒に河川敷から戻っている所です。
長谷川 分かった。

その場で橋野を待っている川部。
橋野が小林と団室に入って来る。
挨拶をする野瀬と宮本。幹部室に入る橋野。
橋野に挨拶する幹部達。橋野が団旗に一礼する。
幹部室から出て行く小林と川部。
野瀬、宮本も一旦、団室から出て行く。

橋野 練習はもう終わったのか？
長谷川 押忍。
橋野 ボート部、全国大会に出場したみたいだな。
長谷川 押忍、残念ながら二回戦で敗退しましたが。

橋野　でも全国大会に出場したのは、久しぶりだろ？
長谷川　押忍。
橋野　顔を出せなくて悪かったな。
長谷川　とんでもないです。
橋野　おい竹下？
竹下　押忍！
橋野　その後、担当者のから連絡は？
竹下　まだです。
橋野　おかしいなあ——目見て気に入ったって言ってたのに。
竹下　・・・
橋野　あとで電話入れて聞いとくから。
竹下　ありがとうございます。
橋野　いよいよ明日だな。
長谷川　押忍！
橋野　準備は大丈夫なのか？
長谷川　押忍。
橋野　・・・そうか。
長谷川　橋野先輩？
橋野　ん？
長谷川　お電話でおっしゃっていましたが、岩田の件で何かありましたか？
橋野　ああ、その事を話しに来たんだもんなあ。
長谷川　押忍。
橋野　今日、岩田は？

長谷川 もうすぐ戻って来ます。

橋野 夏合宿は？

長谷川 正直、練習にも参加できない状態ですが、それでも本人は何が何でも参加したいと言ってますので、練習には参加できませんが、夏合宿の空気感だけでも、体感させてやろうかと思っています。

橋野 そっか（長谷川）お前、岩田があそこで何故大学に入学したのかを本人から聞いた事はあるのか？

長谷川 いいえ。

橋野 お前らは？

「いいえ」と返事をする竹下と吾妻。

橋野 実はなあ、俺の友人が調布の病院で医者やってんだけど、そいつの所でちょっと変わった患者さんがいるって話を聞いた事があったんだ。

長谷川 どのように変わっているんですか？

橋野 ……学ラン姿の中年患者がいるって。

長谷川 学ラン姿の中年患者？

竹下 ……ひょっとしてそれって岩田の事ですか？

橋野 ああ。

吾妻 確か岩田は調布の病院に通院してるって言ってたよな？

竹下 ああ。

橋野 いや、違うんだよ。

長谷川 何が違うんですか？

橋野 通院ではなく……入院患者って事だ。

竹下 えっ！どういう事ですか？
橋野 一年前からその病院に通い出したらしく、ただ二ヶ月前に急激に症状が悪い方向に傾いて、入院せざるを得なかったらしい。
竹下 入院って、ひょっとして今もですか？
橋野 ああ。
吾妻 じゃあ岩田は病院から。
橋野 そういう事だ。
長谷川 ……確か急に腰が痛いって言い出したのが6月頃だったよな？
吾妻 そういえばそうだよな。
橋野 河川敷で岩田と初めて会った後、何か気になって調布の病院に行ったんだ。その時、その友人の医者から岩田の病状を聞いたんだ……
長谷川 以前、診断書を見せてもらいましたが、椎間板ヘルニアが悪化したと。
橋野 ……
長谷川 そうじゃないんですか？
橋野 恐らくその診断書は医者に頼み込んで書いて貰ったんだろう。
竹下 で、何の病気なんですか？
橋野 今すぐ手術をしないと、取り返しのつかない事になる病気だよ。

橋野の言葉に驚く長谷川達。

橋野 ……いや、手術をしても…何て言うか……
長谷川 それって？
橋野 岩田の奴、小さい頃から学ラン姿で応援団になる事が夢だったらしくその夢を叶える為に、応援団がある高校へ入学したそうだ。しかし家

の事情で半年でその高校を辞めないといけない事になったらしい。その後は暫く地元で就職して、二十二歳の時に上京し、ある印刷会社に再就職したそうだ。仕事振りも真面目で唯一楽しみが神宮球場の応援席で六大学の応援団と一緒に選手を応援する事だったみたいだ。そんな岩田が身体に異変を感じて病名を聞いた時、限られた人生の中で、唯一悔いが残っていたのが、応援団を辞めざるを得なかった事で、その夢を何としても叶えたく、必死で勉強して三多摩大学に入学したって訳だ・・・

何かを感じている長谷川達。

橋野 今の話はいつもそばに付いている、岩田の奥さんから全部聞いたんだ。

長谷川 ……

橋野 本人には可哀想だが、夏合宿の件は、長谷川、お前から伝えるんだ。

長谷川 ……

橋野 辛いと思うけど、岩田本人の為だ。

長谷川 ……押忍！

吾妻が廊下にいる団員達を呼びに行く。 三年以下、全団員が「失礼します」と言い幹部室に入って来る。

長谷川 いよいよ明日、新島に出発するが、これから話す事は、団長である俺の判断で決めた事だから、各自色々な想いはあると思うが承諾してくれ。

「押忍」と返事をする三年以下の団員達。

長谷川 明日からの夏合宿には、岩田を連れて行かない事に決めたから。

岩田 !!

長谷川 小林？

小林 押忍。

長谷川 あとで宿に連絡しといてくれ？

小林 押忍。

岩田 押忍、失礼します！！一体どう言う事ですか？

長谷川 気が変わったんだよ。

岩田 押忍！この前も言いましたけど、たとえ練習に参加出来なくても、掃除や洗濯、靴磨き、僕が出来る事は何でもやりますので僕も連れてって下さい。

長谷川 バカ野郎、もう決めた事だから諦めろ。

岩田 諦めろって、そんな事言わずに、連れてって下さい。

長谷川 何回言わせんだよ、無理なんだよ。

岩田 絶対に迷惑を掛けないので、お願いします。

長谷川 うるせえーんだよ。お前がその場にいる事自体が迷惑なんだよ。

岩田 お願いします。押忍！！お願いします！！！！

長谷川 おい小林？

小林 押忍。

長谷川 宿に電話しろ？

小林 ……押忍。

岩田 小林さん、ちょっと待って下さい。僕も行きたいんです。お願いします。お願いします……

戸惑う小林。

長谷川 おい早く掛けろ！！

小林 押忍！

受話器を手にする小林。すると野瀬が、

野瀬 押忍！失礼します！生意気な事を言いますが、岩田を連れてって下さい！お願いします！押忍！

溝口 おい野瀬！！

宮本 押忍！お願いであります！岩田のサポートは全て私達がやりますから岩田を連れてって下さい、お願いします！押忍！！

松野 おいお前ら！！

野瀬 押忍！！今の僕がここに居るのも岩田のお陰なんです、どうしてもどうしても一年生、三人で参加したいんです。この通りです。お願いします、押忍！！

土下座をする野瀬。その姿を見た宮本も土下座をして、

宮本 お願いします！押忍！！

竹下 川部？

川部 押忍！

竹下 お前、今まで何を指導してきたんだよ！！

川部 押忍！！

竹下 押忍じゃねえーんだよ。

川部 押忍！！
長谷川 おい小林、早く電話しろ！！！！
小林 押忍。

受話器を取り、宿に電話を掛ける小林。
二年生団員が野瀬と宮本を立たせる。

小林 押忍、三多摩大学応援団の小林です。度々失礼いたします。先程応援団員は十一名とお伝えしましたが、十名に変更して頂けますでしょうか？はい、はい、それでは宜しく願いいたします。押忍。

長谷川 おい岩田？
岩田 押忍。
長谷川 ……分かってくれるよな？
岩田 ……押忍。

(M8) in

野瀬 おい岩田！ホントにそれでいいのかよ！！
宮本 入団した時から楽しみだと言ってたじゃない！夏合宿に行きたかったから、今まで頑張ってきたんでしょ？
岩田 二人とも、ありがとう、ありがとうね。

気持ちを切り変える岩田。

岩田 押忍！先程は生意気な発言をしてしまい、大変失礼しました。新島には行けませんが戻ってきたら、たくさんおみあげ話を聞かせて下さい。楽しみに待ってますから、押忍！

宮本 岩田くん！！

野瀬 岩田！！

長谷川 ……それじゃ明日から頼むぞ！！

「押忍！」と返事をする団員達。岩田を見つめる団員達。
(暗転) 転換スタート。

野瀬のナレーション

この時の僕は岩田の病状の事など、知る由もなかったが、岩田の想いを胸に秘め、押忍の精神の下、宮本と共に夏合宿を乗り切る事を心に誓った。そして初めての夏合宿が始まり、連日想像を絶する練習に何度も心が折れそうになったが、何とか最終日を迎える事が出来た。そして団長から…岩田の事実を知らされるのであった…

8 【新島・運動場】

(M9) in (紅吹奏楽部バージョン)

奇麗な夕日が運動場全体に差し込んでいる。

川部と白石がセンターの位置に立ち、団員達が整列している。

川部と白石が「元気よく！！」と大きな声で合図を送る。

一斉に両手を上げる団員達。

吾妻がテンポよくバスドラムを叩いている。

「ソリヤー」と大声を出しながらテクを振り続けている団員達。

橋野や幹部達は下級生達を叱咤激励している。

長谷川の合図でペアーを組む団員達。

× × × × × × × ×

長谷川の合図で「1、2、3」と号令を発しながら拳立ての姿勢
を取る団員達。長谷川の合図で拳立を始める団員達。

長谷川の合図で一列横隊に整列する団員達。

× × × × × × × ×

長谷川の合図でダッシュを始める団員達。

長谷川の合図で肩を組みながら円形になる団員達。

団員達に橋野が、

橋野 自信の持てない練習なんてするな！！

団員達 押忍！！

橋野 やりきったって実感が自信に繋がるんだ！！！！

団員達 押忍！！

× × × × × × × ×

長谷川の合図で二人一組に整列する団員達。

相手を背中に背負い、長谷川の合図で屈伸を始める団員達。
長谷川の合図で元の位置に整列する団員達。

× × × × × × × ×

再び、川部と白石がセンターの位置に立ち、
「元気よく！」と大きな声で合図を送る。
「ソリヤー」と大声を出しテクを始める団員達。
必死で腕を振り続ける団員達。
川部の合図で両手を上げたまま姿勢を保つ団員達。

川部 気を付け！

素早く脱帽し、両手を下げる団員達。

川部 礼！

団員達 ありがとうございます。

川部 直れ！

頭を上げる団員達。

長谷川 おいお前ら！

団員達 押忍！

長谷川 まだまだ甘いんだよ。

団員達 押忍！

長谷川 だがな、この十日間、よく頑張ったな！

団員達 押忍！

橋野 川部！

川部 押忍！

橋野 白石！

白石 押忍！

橋野 今の気持ちを忘れんなよ！

「押忍！」と返事をする川部と白石。

竹下 おい二年！

「押忍！」と返事をする松野達。

竹下 何があっても絶対に自分に負けんなよ！

「押忍！」と返事をする松野達。

吾妻 おい一年？

「押忍！」と返事をする野瀬と宮本。

吾妻 岩田の分も、頑張るんだぞ！！

「押忍！」と返事をする野瀬と宮本。

橋野 長谷川？
長谷川 押忍！
橋野 最後は皆で、岩田にエールを贈ってやれ！
長谷川 押忍！
吾妻 野瀬！
野瀬 押忍。
吾妻 宮本！
宮本 押忍！

長谷川を挟むように一列目に野瀬と宮本がやって来る。
橋野がバスドラムの位置へ移動し、吾妻と交代する。

長谷川 元気よく、フレー、フレー、岩田、ソリャー
団員達 フレフレ岩田、フレフレ岩田、フレフレ岩田、フレフレ岩田。

橋野が力強くバスドラムを叩いている。
(M10) in

長谷川 頑張れー頑張れー岩田、ハイ！
団員達 頑張れ頑張れ岩田、頑張れ頑張れ岩田、頑張れ頑張れ岩田、頑張れ頑
張れ岩田・・・・
長谷川 気を付け！礼！
団員達 ありがとうございます。
長谷川 直れ！解散！

団員達 押忍！ありがとうございました。

× × × × × × × ×

野瀬 こうして一年目の夏合宿が終わった。先輩方が今までおっしゃっていた多く言葉の意味を理解し始めたのは、間違いなく夏合宿を経験してからだった。その後秋のリーグ戦を終え、卒団式の三日前に、岩田さんの容態が急変し、息を引き取ったとの訃報が団室に届いた。享年四十八歳。死を覚悟していた岩田さんの最後のイキザマを、僕は一生忘れる事はないだろう。岩田さん、ゆっくりと休んで下さい。そしてありがとうございました・・・

(暗転) 転換スタート。

9 【三多摩大学 講堂 午後一時頃】

学ラン姿の宮本が卒団式の準備をしている。
暫くして宮本の携帯電話が鳴る。

宮本 はい、宮本です。押忍、押忍、昨日、野瀬と一緒にお店に行って確認しました。押忍、三十名で予約済みです。押忍、それと橋野先輩、岩田さんの奥様も参加してくださるとの事です。押忍、押忍、予定通りで問題ないかと思えます。押忍、押忍、失礼します。

電話を切る宮本。暫くして野瀬がやって来る。

野瀬 どう準備の方は？

宮本 大丈夫だよ。

野瀬 何か緊張するね。

宮本 そうだね。

野瀬 ……宮本？

宮本 どうしたの？

野瀬 随分時間が掛かったけど、今日先輩方にも、全部話そうと思ってんだ。

宮本 その言葉、ずっと待ってたんだ。

野瀬 何を言われても俺は絶対に辞めないから。

宮本 ……うん。

川部以下二年生団員がやって来る。

挨拶をする野瀬と宮本。

川部 (宮本に) 準備は大丈夫だな？

宮本 押忍！

整列している団員達。

入場の曲が流れる。

(M11) in

長谷川、竹下、吾妻がやって来る。拍手で迎える団員達。

小林が一步前を出て一礼する。

小林 大変お待たせしました。それでは第四十五回、三多摩大学応援団、卒団式を始めたいと思います。同席くださいました、OBの先輩方並び関係者の皆様、誠にありがとうございます。司会進行役を務めます、私、二年生団員、小林孝平でございます。まず初めに吾妻先輩から一言お願いいたします。

吾妻 言いたい事はリーグ戦が終わった後に伝えたけど、今までありがとうな！長谷川や竹下に比べると、頼りなく感じる事もあったかと思うけど、俺は皆に出逢えた事を誇りに思っているから。もし家族や知り合いで株や資産運用に興味がある人がいたら連絡待ってるから、押忍！

川部 ありがとうございます。

一礼する川部。

団員達 ありがとうございます。

一礼する団員達。

小林 続きまして、竹下先輩からも一言、お願いいたします。

竹下 はい、在校生注目。

団員達 何だ！

竹下 しめっぽい空気は好きじゃないから、手短かに話すけど、今まで散々無茶な事ばっか言って悪かったな。でも俺は常に愛情を持ってお前らに

接してきて事だけは分かって欲しい。来年の夏合宿は恐らく行けな
いけど、差し入れに日本で一番美味しいぶどうと、きびだんごを贈る
から。今まで本当にありがとう！押忍！

川部 ありがとうございます。

一礼する川部。

団員達 ありがとうございます。

一礼する団員達。

団員達 ありがとうございます。

小林 では最後に長谷川団長、お願いいたします。

長谷川 人の上に立つ事が、こんなにも大変で、辛く、でも、それが喜びに変
わり同じ目標に向かっている人間同士が、いつしか一つになる事が出
来るんだと言う事を、皆に教えて貰えたと素直に感じている。団長と
してふさわしい器ではない俺を、今まで支えてくれて本当にありがと
う。これからはお前達で三多摩大学応援団の伝統を守ってくれる事を
願ってるから。皆、元気でな！

川部 ありがとうございます。

一礼する川部。

団員達 ありがとうございます。

一礼する団員達。

小林 幹部の皆様、ありがとうございました。続きまして三年、川部から、幹部の皆様へ一言、お願いします。

川部 押忍！この三年間、本当にありがとうございました。正直寂しいです。まだまだ一緒にいたいです、押忍！三多摩大の名に恥じないよう、これからも今まで以上に精進します。ありがとうございました、押忍！

一礼する川部。

小林 二年、松野からも一言、お願いします。

松野 押忍！こう見えても自分は涙もろい方なのですが、でも今は何故か涙が出て来ません。その意味をこの後、じっくり考えたいと思います。ただ自分は幹部の皆さんの事が大好きでした！押忍、ありがとうございました。押忍！

長谷川 おい松野！

松野 押忍！

長谷川 やればできんじゃねえーか。

松野 押忍！！！！

小林 最後になりますが、一年、野瀬から一言、お願いします。

野瀬 押忍！あの日、あの場所で先輩方の勇姿を拝見し、そして宮本、岩田が僕を引き止めてくれたお陰で、僕は今もここにいます。自分探しをしたくて応援団に入団しましたが、今まで先輩方にひとつだけ黙っていた事があります。実は・・・僕は恋愛対象としては男の人しか好き

になれません。そんな自分に対して悩んだ時期もありましたが、今は違います。そんな自分を素直に受け入れ、僕は、これからも三多摩大学応援団の団員として、誇りを持ち、ありのままの自分で生きて行こうと心に誓いました。今まで黙ってて・・・

長谷川 おい野瀬！

野瀬 押忍！

長谷川 ……押忍……話してくれてありがとう。

野瀬 ……押忍。

野瀬の目から少しだけ涙が溢れている。

誇らし気に野瀬を見つめている宮本。

(M12) in

小林 それでは最後に、校歌の斉唱を行いたいと思います。

一列になる団員達。

川部 元気よく。三多摩大学校歌！

拳を握り右手を上げる団員達。

校歌の伴奏が流れる。

団員達 武蔵の自然に囲まれて、我等は常に飛躍する
青空の下 いつまでも 同志と共に歩む日々
三多摩 三多摩 三多摩大学 我等の母校……

(M12) ブリッジ

(暗転) 転換スタート。

10 【三多摩大学 中庭・午後一時頃】

三年後の春、新歓ライブ最終日中庭の隅に組まれた小さなステージ上で、二年生団員の辻本と畠山、木村が新入生達に必死で声を掛けている。ステージ下手側の下で吹奏楽部の部員達が各楽器のチューニングを行なっている。

木村 新入生の皆様、本日新入生歓迎会最終日となりますが、間もなくこちらのステージで、三多摩大学応援団の新歓ライブを行ないます。新入生の皆様、是非お集りいただき、我が三多摩大学応援団の熱い、熱いライブをお楽しみ下さい！

畠山と辻本が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

木村 宜しく申し上げます。

畠山 申し上げます！

辻本 申し上げます！！

辻本達の声に対して無反応の新入生達。

畠山 はい、新入生注目！

木村と辻本が大きな声で「何だ？」と新入生達を煽る。

畠山 はい、新入生注目！！

木村と辻本が大きな声で「何だ？」新入生達を煽る。

畠山 繰り返しになりますが、間もなく我が三多摩大学応援団の新歓ライブを行ないます。一人でも多くの新入生の皆様に、是非、見ていただきたいんです！

木村と辻本が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

畠山 是非、見ていただきたいんです。

木村と辻本が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

辻本 ライブを見ていただければ、きっと応援団のイメージが変わり、興味を持っていただける事だと思います。

木村と畠山が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

辻本 これから始まるステージが新歓、最後の最後のステージです。

木村と畠山が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

辻本 是非、是非、足を止めてご覧下さい！

木村と畠山が「そうだ！」と大きな声で新入生達にアピールする。

辻本 お願いします。

畠山 お願いします！！

木村 お願いします！！！！

足が止まってしまう畠山達。

畠山 ……このままだとヤバイな。

木村 ああ。

辻本 橋野先輩も来られるって言ってたし。

畠山 参ったなあ……

木村 まだ少し時間あるよな？

畠山 ああ。

ステージに三年生団員の先川が。

ステージ前を通り過ぎる学生達を見る先川。

先川 昨日より集まりが悪いな。

辻本 押忍。

先川 ヤバイなあ……橋野先輩、見かけたか？

辻本 いいえ。

先川 ホントに来るって言ってたんだよな？

辻本 押忍！
先川 オンタイムで始めるけど、俺達の想いを、精一杯伝える事だけに集中すればいいから。
畠山 押忍！絶対に諦めませんから。
木村 押忍！同じく、歩いている新入生を振り向かせ、釘付けにしてみせます。
先川 辻本？
辻本 押忍！
先川 後輩欲しいよな？
辻本 押忍！
先川 畠山？
畠山 押忍！
先川 お前も欲しいよな？
畠山 押忍！
先川 木村？
木村 押忍！
先川 諦めてないよな？
木村 押忍！！
先川 そろそろ時間だ。最後だから、頼むぞ！！

「押忍！」と返事をする畠山達。
先川達が定位置にスタンバイする。
舞台袖からバスドラムを叩く音が聞こえて来る。
野瀬と宮本がステージに登場。

一礼する野瀬と宮本。

野瀬 はい学生注目！

団員達 何だ！

野瀬 新入生の諸君、入学おめでとう！

団員達 そうだ！

野瀬 東京にある138校の大学の中で、三多摩大学を選んでくれて本当にありがとう！

団員達 そうだ！

宮本 三多摩大学、何か響きがいいだろう。

団員達 そうだ！

野瀬 三多摩地区に住むと、多摩ナンバーになるけど、いいんだな？

団員達 そうだ！

宮本 家の電話番号も03ではなく、042になるけどいいんだな？

団員達 そうだ！

野瀬 都内より気温が二、三度低くなるけどいいんだな？

団員達 そうだ！

宮本 家庭ゴミを出す際に、指定のゴミ袋を買わないとゴミを出せないけどいいんだな？

団員達 そうだ！

野瀬 けしてセコイ話ではない！

団員達 そうだ！

宮本 三多摩地区は環境に優しいんだ！

団員達 そうだ！

野瀬 一週間続いた新歓も、今日が最終日である！

団員達 そうだ！

野瀬 きっとまだどこに決めようか、迷っている事だと思うが、焦らずじっくりと考えて欲しい！

団員達 そうだ！

宮本 因みに今現在、我が応援団への入団希望者はゼロである。

団員達 そうだ！

野瀬 お恥ずかしい話だが、三多摩大学応援団創部以来、こんなにも団員数が少ないのは今年が初めてだ！

団員達 そうだ！

野瀬 正直、崖っぷちに立たされている状況だ！

団員達 そうだ！

野瀬 だけど、最後の最後まで我々は諦めないぞ！

団員達 そうだ！

宮本 特に男子校出身の新入生諸君に聞いて欲しい。どこを見ても女子だらけで嬉しいだろ！

団員達 そうだ！

野瀬 浮き足だってないか？

団員達 そうだ！

野瀬 諸君の気持ちは十分理解できる。実は三年前の新歓最終日に、今の諸君と同じく、私達もこの場所にいたからだ！

団員達 そうだ！

野瀬 そしてあの時、応援団のライブを見て、私は自分自身に約束した事がある。

団員達 何だ？
野瀬 これから始まる学生生活に、私の学生生活に、女はいらないと！
団員達 そうだ！
野瀬 何故なら私は、私は男が好きだからだ！
団員達 そうだ！
宮本 けしてこれは冗談ではないぞ！
団員達 そうだ！

(M13) in (Gipsy Kings My Way)

野瀬 これからの人生、きっと大きな壁の前で、何度も立ち止まる事がある
かと思う。
団員達 そうだ！
宮本 将来の自分に不安を感じる事だってあるだろう！
団員達 そうだ！
野瀬 でもそんな事を恐れず、これから始まる学生生活を思う存分、謳歌し
て欲しい。
団員達 そうだ！
宮本 諸君の傍にはいつも、我々応援団がいる事を忘れないで欲しい。
団員達 そうだ！
野瀬 是非我々と共に、押忍の精神の下で、本当の自分探しの旅に出ようで
はないか！
団員達 そうだ！
宮本 人は誰しも、変わろうと思えば変わる事が出来るんだ！

団員達 そうだ。

野瀬 恐れる事など、何もないんだ！

団員達 そうだ。

野瀬 これからの四年間、我々応援団と、そして三多摩大学の仲間と共に正直に、ありのままに、生きて、生きて、生きまろうではないか！！！！

団員達 そうだ！

野瀬と宮本が腕組みをしながら、大団旗が来るのを待っている。
ステージ下手から旗手長と団員二名が大団旗を持ってやって来る。
「団旗上げ！」の声と共に団旗を上げる旗手長。
鼓手長がバスドラムを叩き、野瀬と宮本に合図を送る。
バスドラムの音を聞き、野瀬と宮本が「元気よく！」と声を掛けながら両手を上げる。

宮本 フーレーフーレー新入生。

団員達 ソリャー——

ソリャーで両手を素早く広げる団員達。

宮本 エイ！

団員達がテクを振りながら、

団員達 フレフレ新入生、フレフレ新入生！

宮本 エイ！

両手を上げたままの姿勢の団員達。

野瀬 頑張れ！頑張れ！新入生！

団員達 ソリャーーーーー

野瀬 エイ！

バスドラムを叩き出す鼓手長。

団員達 頑張れ頑張れ新入生！頑張れ頑張れ新入生！頑張れ頑張れ！三多摩！頑張れ頑張れ三多摩！！！！

大声でエールを贈り続ける団員達。

大団旗が青空の下、風に靡いている……

(暗転)

(完)